

日医発 882 号（健Ⅱ337）
令和 2 年 1 1 月 1 1 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
中川 俊男



第12回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム
「薬剤耐性(AMR)対策アクションプランの成果と次期の展望」
～新型コロナウイルス感染症により注目されるワンヘルスアプローチでの取り組み～
の開催について

この度、標記シンポジウムを別添のとおり12月3日（木）にWebにより開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

ご参加につきましては、下記によりお申し込みくださいますようお願いいたします（参加費無料）。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、貴会会員に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

第12回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム
「薬剤耐性(AMR)対策アクションプランの成果と次期の展望」
～新型コロナウイルス感染症により注目されるワンヘルスアプローチでの取り組み～

開催日時：令和2年12月3日（木） 13：00～17：00

開催形式：Webによる開催（リアルタイム配信及び動画配信）

プログラム：別添のとおり

申し込み先：<https://jvma-sympo.jp/12AMR-sympo.html>

問合せ先：日本獣医師会事務局 ask@nichiju.or.jp



薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランの 成果と次期の展望

～新型コロナウイルス感染症により注目されるワンヘルスアプローチでの取り組み～

今般、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、医療危機、社会経済的な危機が生じていますが、人と動物の共通感染症であることから、人と動物等の保健衛生の一体的な推進（“One Health”アプローチ）の必要性に社会的な関心が高まっています。

薬剤耐性(AMR)対策についても、“One Health”アプローチに基づき、医療、産業動物診療、小動物診療、農業生産、水産養殖、食品安全等、広範な分野で相互に情報提供等を行いつつ、それぞれの分野で有効な施策を講じていくことが不可欠です。

本連携シンポジウムは、このような社会的要請を踏まえ、薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2016-2020」の取り組みと今後の課題について検討した上で、医療、獣医療等の現場における薬剤耐性(AMR)対策の実践事例について紹介及び検討を行い、医療、獣医療等の関係分野における薬剤耐性(AMR)対策の一層効果的な推進に資することを目的として開催します。

開催日時：令和2年12月3日（木）13：00～17：00（予定）

開催形式：Webによる開催（リアルタイム配信及び動画配信）

<参加費：無料>

シンポジウムの申込み：<https://jvma-sympo.jp/12AMR-sympo.html>



第一部：「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン2016-2020」の 取り組みと今後の課題

〔特別講演〕

- 1 医師側からの提言 渡邊治雄（国立感染症研究所名誉所員、黒住医学研究振興財団理事長）
- 2 獣医師側からの提言 田村 豊（酪農学園大学名誉教授）

主 催：公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 日本獣医師会

第二部：医療分野及び動物分野における薬剤耐性対策の紹介

I 医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の取り組みなど

- ・医療分野：前田稔彦（まえだ耳鼻咽喉科クリニック）
- ・医療分野：松永展明（国立国際医療研究センター）
- ・獣医療分野：呉 克昌（(株)バリューファーム・コンサルティング）
- ・獣医療分野：高橋佐和子（(有)高橋畜産）
- ・獣医療分野：松田真理（動物医薬品検査所）

（講演の順序は変更することがあります。）

II 医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の現状と対策

- ・医療分野における現状と対策（厚生労働省）
- ・獣医療分野における現状と対策（農林水産省）